

## 2004 年度

### 委託事業

#### 北山村公共建物耐震診断業務

阪神・淡路大震災以降、巨大地震や災害の発生が相次ぎ、紀伊半島では海洋型の南海、東南海地震の発生と甚大な被害が予測されるなか、北山村が独自におこなった村内公共建物（5施設9棟）の耐震診断業務を委託されたもの。阪神淡路大震災以降、被災地での公共施設の耐震診断で業績のある山田建築構造事務所（本社；大阪市）の協力で実施。村当局は、この診断をふまえ学校の耐震事業に着手し、災害に強い村づくりに取り組む。

#### 高原の郷・未来づくり事業に関する住民意識調査業務

事業は、中辺路町（受託当時）のNPO囲炉裏（代表 倉尾弘大）が、世界遺産登録を機にかつての熊野街道の宿場で、今日急激に過疎、高齢化が進む高原地区の地域活性化について、住民と共同で取り組んでいるもの。業務は、そのためのデータとして高原地区住民の意識を対面調査で探り、集計、それを分析した。会合、現地説明会でアドバイザーをつとめたほか、講演会をプロデュースした。

半島いきいきネットワーク形成促進事業（広域計画づくり／紀伊地域）国土交通省都市整備局の事業（田辺市からの委託事業）で、5市町村の合併により誕生する予定の新市の広域観光ビジョンについて調査研究し報告書を作成。2004年9月2日～2005年3月31日。2005年度でひきつづき「アクションプログラム」作成を受注することが目標。

#### 和歌山県大型観光キャンペーン期間中の観光客動向等の調査

和歌山県大型観光キャンペーン推進協議会（会長 木村知事）の委託で、2004年11月20日から和歌山県内15地域で2500人を対象に和歌山県観光、世界遺産登録 効果などを探ったもの。調査は和大学生、現地住民ら、集計分析は和大学生の協力を得ながら実施。期間は2004年11月8日～2005年2月まで。

## 企業ブランド構築に向けた住民意識調査

住民に愛される企業ブランド構築を目指し、ターゲット層のエネルギーに関する知識・意識を探り社会貢献のあり方を考えていくことなどを目的に行なっているもの。2004年度は市場調査を主に実施した。地元の白浜ガス株式会社からの委託事業で、企業からの初の受注事業となった。

## 共催事業

フォーラム「紀伊山地と流域の交流・連携を求めて 食と文化とひと  
と ～熊野川流域・食から考える創造的な地域づくり～」

2004年11月28日 本宮町（当時）山村開発センター&大斎原で開催

①地元学の提唱者で地域づくりの功績で平成16年度芸術祭文部大臣賞受賞の結城登美雄氏を招いての講演会・パネルディスカッション

②熊野川流域で地域づくりに取り組む3県の女性たちの参画による「食の店」の開催

③和太鼓とオーボエが大斎原でセッションした「森と水の音楽会」で構成和歌山、奈良、三重3県の熊野川流域における女性・高齢者を中心とする地域づくり団体に参加を呼びかけて開催したことが特色。きのくに活性化センターと和歌山大学きのくに活性化支援センターの共催、和歌山、奈良、三重3県および流域13市町村が後援した。

## コーディネート事業

### 白浜遊学講座

白浜中央公民館主催の公開講座で、2004年6月に4回にわたり開催。教員4人がそれぞれの専門分野を中心に住民に講義。

### 上富田町職員研修事業

職員の意識改革、やる気などの養成を目的とした事業で、講師は和歌山大学経済学部教授がつとめる。